



可動式コンピュータ持ち帰りのルール(低学年用)



学習内容を理解し、より豊かな学びを実現させるためには、可動式コンピュータを上手に活用することが大切です。可動式コンピュータはみなさんの学習に役立つための道具です。便利な道具ですが、心配されることもあります。

そこで、「可動式コンピュータ持ち帰りのルール」を定めました。全員が、このルールを守り、可動式コンピュータを安心・安全・快適に活用していきましょう。

1 可動式コンピュータを使う目的

学校で貸し出しをする可動式コンピュータは、家庭での学習のために使うことが目的です。ゲームや学習に関係のない動画の見るなど、学習に関わる以外に使ってはいけません。

2 可動式コンピュータを使うときに注意すること

- 家庭以外の場所で使用しません。
- 可動式コンピュータは、カバンに入れて持ち帰ります。また、登下校中は、可動式コンピュータをカバンから出しません。
- なくしたり、ぬすまれたり、落としたり、水にぬれたりしないように十分に気をつけます。
- 可動式コンピュータを持ったまま走ったり、可動式コンピュータを地面に置いたりしません。
- 水をかけたり、湿気の多いところで使ったりしないようにします。また、日光が強く当たる場所や、ストーブの近くなどにはおきません。
- 可動式コンピュータを操作するときは、画面を指でふれるか専用のペンをつかいます。専用のペン以外でふれたり、落書きしたり、磁石を近づけたりは絶対にしません。
- 長時間続けて使いません。また、寝る時刻の30分前には、使うのをやめるようにします。

3 保管の仕方

- 家の人の目の届くところに保管します。



4 健康のために

□ 可動式コンピュータを使うときは、正しい姿勢で、画面に近づきすぎないように気をつけます。

□ 30分に一度は遠くを見るなど、ときどき目を休ませます。

5 安全な使用

□ ルールをきちんと守ります。危険なサイトや有害なサイトに入ってしまったときは、使用中止し、家の人に知らせましょう。

6 個人情報など

□ 可動式コンピュータを他人に貸したり、使わせたりしません。

□ 自分や他人の個人情報(名前、住所、電話番号、メールアドレス、写真など)はインターネット上には絶対にのせません。

□ 相手を傷つけたり、いやな思いをさせたり内容を絶対に書き込みません。

7 カメラでの撮影

□ カメラで人を撮影したり、人の家や持ち物などを撮影したりするときは、撮影する相手や場所の許可を必ずもらいます。

8 設定の変更

□ 可動式コンピュータは、学校のみんで共有して使うものなので、アイコンの並び方や位置、背景の画像、色などの設定は勝手に変えません。

□ 可動式コンピュータには、今入っているもの以外のアプリケーションを入れません。また、今入っているアプリケーションは削除しません。

9 不具合や故障

□ 可動式コンピュータ本体やインターネットが使えなくなったり、再起動をしても元にもどらないときや、故障したり、紛失したりしときは、学校に連絡をします。

□ 乱暴な使い方をしたり、学習に関係しないことを行ったりして故障したり、破損してしまった場合は、修理代をおうちの人に負担していた

だく場合があります。大切に使います。

10 使用の制限

□ 『可動式コンピュータ持ち帰りのルール』が守れないときは、可動式コンピュータを使うことができなくなります。

ルールを守り「安心
・安全・快適」に
活用しよう

